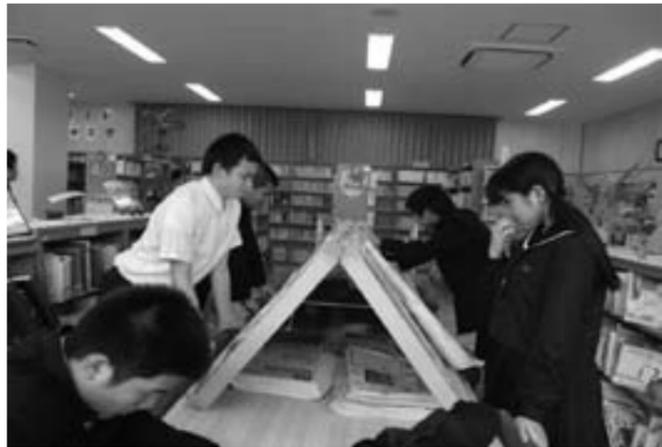


読谷村立読谷中学校
実践：第3学年

本校は平成22年度から2年間、日本新聞協会指定実践校として、活動してきました。NIEの実践は、右の表の通りです。

①新聞に興味関心を持たせることをはじめに、学級では、朝の学活の時に日直が本日のNEWSコーナーを設けて発表しています。琉球新報の連載で、本校卒業生の竹井大地さんのアフリカ自転車旅の記事を国際理解と関連し、学級で読んで、アフリカとのメール交換など竹井さんとの交流も図りました。また、休み時間には、新聞コーナーを新設したことで、新聞を読み、図書室へ足を運ぶ生徒が増えました。
《新聞を読む生徒達》



実践の流れ

- ①新聞に興味関心を持たせる。
 - ・卒業生の竹井さんのアフリカ紀行を全生徒で閲覧
 - ・図書室での閲覧コーナーの設置
- ②スクラップレポートの実施
- ③新聞のできるまでを講習
 - ・琉球新報社 松永記者
- ④校舎移転の新聞作り
- ⑤両新聞への特集投稿
- ⑥授業の実践・・・資料
- ⑦生徒会放送委員会 NIE 番組実施

②選択社会科の時間では、各自が切り抜いてきた新聞記事から内容を読みとり、何を学ぶかを中心にはじめ、新聞記事を自由に切り抜き、感想を書いて掲示発表を行った。友だちの記事から他人の見方や考え方を読み取り、自分自身の意見をまとめることを実践していきながら、社会に対する目を育成しました。同時に読む・考える・自分の意見を表現する言語活動とつながりました。

③新聞に興味を持ちはじめた生徒達に、校舎移転というイベントを手作り新聞にしていく取組みの中で、琉球新報社の松永記者より、作成のポイントや写真撮影の仕方などの講話をしていただきました。

④60年いた校舎敷地の移転という節目に、思い出の場所の写真撮影を行い、そのまつわる話など記事としてまとめました。

⑤沖縄タイムスワラビー、琉球新報りゅうPONへの特集号の取組み両新聞社より、記者が来校し、生徒と一緒に取材活動や写真撮影、記事の書き方を実践しながら、旧校舎から新校舎への変遷、でき事、エピソード

など読者も楽しめる内容となった。

⑥授業実践（後頁参照）

主に3学年の選択の時間や社会科の時間を通して、1年目は、新聞記事から読みとり、何を学ぶかを中心にはじめ、新聞記事を自由に切り抜き、感想を書いて掲示発表を行った。友だちの記事から他人の見方や考え方を読み取り、自分自身の意見をまとめることを実践していきながら、社会に対する目を育成しました。同時に読む・考える・自分の意見を表現する言語活動とつながりました。



⑦ 夏のNIE研修会で、豊見城中学校の実践の中に生徒会放送委員会の取組みがあつて、すぐに取り組めると感じ、早速2学期から毎週水曜日の担当に持ちかけ、番組化しました。委員も新聞記事を持ち寄り、内容によってコメンテーターの先生を交渉し、事前打ち合わせをしているかのように、マイクの前で聴きたいことや、記事にまつわる先生の話の給食時間に校内で放送し、好評も上々です。

特に那覇マラソンや沖縄マラソンの時には出場の先生方から記事の内容を説明してもらったり、入試志願状況のときには、進路担当の先生が1年生にもわかりやすくコメントしてもらいました。

その他には、保健関係や世界情勢、沖縄の時事についても話題作りに新聞を大いに活用しました。

NIE 実践授業学習指導案

平成23年〇〇月〇〇日(〇)校時
 読谷村立読谷中学校 3年 組
 授業者: 宮城 秀輝

1. 研究テーマとの関連

資料活用を通して、社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現する力(言語活動)の育成。

2. 本時の展開

(1)教材名

NIE 新聞記事で友だちとのコミュニケーション作りをやろう。

(2)本時のねらい

各自の興味を持った新聞記事を読み、理解して友だちにその内容を伝える。言語活動の基本的な読む、話す、聞くことを通して、人間関係づくりや表現する力を図る。

(3)授業仮設

読んだ記事の内容を理解し、友だちに話す事によって、表現する力を豊かにし、聞く側もより知識を深めることができるだろう。

(4)本時の展開

流れ	学習内容・学習活動	指導の工夫・留意点	評価の観点・備考
はじめ (10)	最近の記事を紹介する。 情報を得た人達の生活はどう変化するか。	普段の人々は新聞の記事で、どのように人間関係を築いているか。 情報化社会での過ごし方について	教科書の情報化社会について関連 意欲関心態度
なかみ (35)	各自の持ってきた新聞記事をまとめる。 ①友だちに伝えあう。 聞いた内容にタイトルをつけてあげる。 ②友だちに伝えあう。 聞いた内容にタイトルをつけてあげる。	各自の記事を要約する際の留意点。相手にわかりやすいようにまとめさせる。 聞いた側はその内容に記事らしくタイトルをつけてあげる	確かな情報を伝える。 技能表現 聞いた内容を整理する。 知識理解
おわり (5)	本時のふりかえり、人との関わりについて 発表したみんなへ称賛 まとめ	話す工夫し、伝えることについてポイントを確認する。 記事を実生活の場面においてその情報をどう活用するか。	思考判断

(5) 評価

新聞記事を通して、友だちとの話題が盛り上がった。
 新聞記事を読み理解し、人に伝える技法を学んだ。
 聞いた情報を自分自身の実生活でどう生かしていくか判断ができた。

NIE

月 日

本時の目標

自分の記事の内容の(要点)まとめ

話してくれた友だち

氏名.....

どんな内容?

タイトルつけるなら.....。

話してくれた友だち

氏名.....

どんな内容?

タイトルつけるなら.....。

今日の授業は.....。学んだことは.....。

読谷中学校 年 組 番 氏名.....

≪成果と課題≫

クラスの6割くらいの生徒の家庭が新聞を愛読している状況であったので、このNIE実践はうまくいくのか不安のままスタートしました。読谷中学校は昨年度、他の学校では例にない校舎敷地移転、大引っ越しを経験しました。読谷中学校の歴史的場面を新聞にまとめたり、2社の新聞に掲載されたりと、新聞を身近に感じることができた。同時に読む力・読んで考える力・友だちに伝える力等(言語活動に位置付け)、すべて実際の社会生活で行われている実践活動(キャリア教育:情報集能力・人間関係づくりと位置付け)をNIE実践校のおかげでスムーズにできました。

今後の課題として、一部の学年や教科にとらわれず、どの教科領域でもどの学年でも、取り組めるように全教師が意識を高揚し、身近な記事(材料)を生かし、授業実践に取り組みたいと感じています。

2年間の取り組みは大変意義の多い機会となりました。両新聞社・新聞協会に感謝申し上げます。